

事業番号	15 08 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	文化財の保存活用事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課	
		実施期間	S25 ～	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱	快適でゆとりのある社会生活を創造する					

1 現状と課題

- ・過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財継承の担い手不足による文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となっている。そのため、文化財に対する県民の理解を深めるとともに、所有者等による文化財の保護・活用を推進し、文化財を確実に未来に継承する必要がある。
- ・コロナの影響下においても、県立歴史館による展示公開と県民が楽しく利用できる事業を工夫する必要がある。

2 事業目的

- ・文化財の確実な保護・継承と活用を推進することにより、県民の文化的向上と地域活性化に資する。
- ・県立歴史館において歴史資料等を収集・保存し、広く県民の利用に供することにより、県民の教養と文化の振興に寄与する。

3 事業目的を達成するための取組

①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援

- ・文化財指定を推進するため、現地調査の実施や文化財保護審議会を開催
- ・指定文化財や埋蔵文化財の現状把握や適切な管理のため、文化財パトロールや埋蔵文化財包蔵地パトロールを実施
- ・指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助の実施
- ・文化財保存活用大綱の策定、文化財保存活用地域計画等の策定・運用支援

②県立歴史館事業推進による学習機会の充実

- ・歴史的資料の収集、保存整理や所蔵品のデジタル化を実施
- ・所蔵資料の公開活用や県民への学習機会の提供のため、企画展や各種講座等を開催
- ・中南信地域での「お出かけ歴史館」開催や、Webを活用した情報発信を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	文化財指定等件数	件	1,372	1,399	↗	1,434	↗	1,456		過去5年の実績とR5年度中の指定が見込まれる件数を勘案して設定	
②	県立歴史館利用者数	人	43,778	81,036	↗	70,000	↘	85,000		新型コロナ対応による入館制限等の影響（R元→R2：約8万人の減）の1/2程度の回復を見込んで設定	

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		38.0
	(要求)		796,055		796,055	749,518	
R4年度	1,342	360,900	0	362,242	321,392	35.0	
R3年度	10,119	287,374	2,690	300,183	255,963	281,823	30.0

事業名	文化財の保存活用事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
-----	--------------------	----	----------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	文化財総合対策事業		93,925 千円	102,615 千円	(予算案) (要求) 152,358 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	文化財総合対策	直接	<ul style="list-style-type: none"> 文化財指定のための調査、審議会開催 指定文化財の現状把握や適切な管理のための文化財パトロールの実施 文化財保護研修会の開催 審議会開催2回、文化財パトロール700件、研修会2回		
2	文化財の修理及び防災事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助 補助件数63件		
3	埋蔵文化財保護対策	委託	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の保護のための埋蔵文化財包蔵地パトロールの実施 パトロール400箇所以上		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	県立歴史館事業		193,449 千円	258,285 千円	(予算案) (要求) 643,697 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	総合情報及び企画展等事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の管理運営 企画展（「古墳のカタチ」「信州焼物機構」「横田英」（仮題））の開催 「お出かけ歴史館」の実施 「お出かけ歴史館」実施数6校		
2	文献史料事業費	直接	<ul style="list-style-type: none"> 古文書講座の開催 信州にゆかりのある歴史資料の購入 新「県史編さん」に向けた検討、近現代史資料の所在調査・収集等 古文書講座開催数5回、県史編さん検討委員会開催数3回		
3	公文書館機能事業費	直接	<ul style="list-style-type: none"> 特定歴史公文書を永続的に適切な状態で保管するために、旧須坂商業高校の改修工事や、防虫のための燻蒸機会の確保 ・全館燻蒸回数1回		